

令和 7 年度

「運営に関する計画」（中間評価）



大阪市立宝栄小学校

令和 7 年 1 0 月

現状と課題

本校では、「学びあう、心を見つめ合う、たくましい児童を育てる」を目標とし、一人一人の子どもにとっての安心・安全な居場所、活躍の場を作るとともに、子どもたちが生き生きと楽しんで考えや思いを伝えあうことができることを目指して研究・実践を進めている。

例年、不登校や学級に入れない児童で、これまでと違って友達関係に起因するものが複数あがっている。学級でのトラブル処理をどうするかが問われるものとする。不登校やいじめ事案に関して、今回の運営に関する計画の最終反省にて確認する。

昨年度は、「学級力調査」に取り組み、自分たちの学級がどのような状況なのかを見える化したうえで、より良い学級づくりについて考えることができた。人間関係がこじれて学級に入れない状況を生まないためにも、自分たちの学級がどういう状況であるのかを意識し、より良い集団を育成できるよう取り組みを実施していく。

授業の中で対話ができる場を作ること、自分の意見を言ったり友だちの意見を聞いたりすることができるようになった。今年度も「伝え合う力」を育てるため、自分の思いや考えを、正しい言葉で豊かに表現できるよう研究を進めていく。基礎学力の定着のため、2学年において漢字検定の団体受験を行う。さらに、自主学習環境を整えることで、学習意欲の向上を図り本校児童の学習課題を克服する。

本校の課題解決に向けた取り組みの重点

(1) 安全・安心な教育の推進

だれもが安心できる学級集団づくり

- 日常的に取り組むこと（異学年交流、いいところみつけなど）
- トピック的に取り組むこと（イベント、いじめを考える日など）
- PBS（ポジティブ行動支援）に基づいた支援
- アサーショントレーニングに代表される言い方や方法論を重視した指導

(2) 未来を切り開く学力・体力の向上

自ら問いを発し、解決していこうとする学習活動の創造

- 家庭学習の定着、自主学習の推奨
- 外部講師の招聘
- ICT 機器の有効な活用
- 体育学習での多様な運動に取り組む

(3) 学びを支える教育環境の充実

教育 DX の推進 教員の働き方改革 生涯学習の支援

- 一人一台 PC の日常的な使い方を創造する
- 会議の精選と時間短縮（ペーパーレス化の追求）
- 読書への興味を高める環境整備

評価基準	A:目標を上回って達成した	:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

「大阪市教育振興基本計画」に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 〈安心・安全な教育の推進〉		進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめへの対応 ○「いじめについて考える日」や道徳の学習を通して、いじめについて認識を深める取り組みをする。 ○ いじめが起これにくい学級集団づくりに取り組み、いじめアンケート等でいじめを把握した際は迅速に対応する。		
指標 ・ 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。（昨年度 86.4%）		
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 自尊感情、自己肯定感 ○ 学級の取り組み、学校行事、異学年交流を通して自尊感情や自己肯定感を育む。 ○ PBS(ポジティブ行動支援)に基づき、望ましい行動を育てる集団を育成する。		
指標 ・ 小学校学力経年調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（昨年度 82.7%）		

年度目標の達成状況や取組の結果と分析
取組内容① いじめ ・ 学校生活アンケートにおいて、「いじめはいけない」に対し、最も肯定的な「そう思う」と回答した児童は、88.9%で、目標は達成している。肯定的回答としては、97.8%で高い水準だと感じる。いじめについて考える日での校長先生から全校児童への講話や、道徳の学習を通して、いじめの認識を深める取り組みは各学年、各学級で行っている。
取組内容② 自尊感情、自己肯定感 ・ 各学級で自尊感情や自己肯定感を育む活動をおこなったり、それを教職員で共有する場を設けたりしてきた。集会活動や、ふれあい遠足、宝栄フェスティバルなどのたて割班活動も取り入れ、異学年交流もおこなっている。学校生活アンケート「自分には良いところがある。」の項目では、肯定的回答が87.9%であった。経年調査による「自分には良いところがあると思いますか。」の肯定的回答につなげていきたい。 ・ 月目標とつなげつつ PBS 週間を設けることで、望ましい行動を意識させることができてきている。
次年度への改善点（案）
（最終評価で記入）

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 〈未来を切り拓く学力・体力の向上〉	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的、対話的で深い学びをめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究授業、研修会を積極的に実施し、個別最適な学びの在り方、協働学習により学びを深める指導に取り組む。 ○ 自主学習を奨励し、週に1回、自主学習に取り組む。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。 ・ （昨年度35.1%） 	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>基礎体力の向上につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動用具を精選し、児童が夢中で遊ぶことができる環境づくりを行い、運動が楽しいと思える児童を育成する。 ○ 様々な種目・運動を紹介し意欲的に取り組める体育学習を工夫する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を71%以上にする。（昨年度70.2%） 	

年度目標の達成状況や取組の結果と分析
<p>取組内容① 主体的、対話的で深い学びをめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「話し合い活動を通じて考えを深めたり広げたりできている」と肯定的に回答した児童の割合は、目標値40%以上に対し、全体で44.3%となり、目標を達成した。特に2年生は77.1%と、他学年と比較しても顕著に高い成果を示しており、話し合い活動の成果が表れている。 ・ 研究授業や研修会は、計画的に実施できている。1学期に研究授業に向けた研修会を充実させ、2学期以降は月1回のペースで計画的に研究授業を実施することで「個別最適な学びと協働的な学び」の充実とICT利活用への意識が学校全体で高まっている。また、「自主学習」も各学年で推進されており、1年生は2学期から自主学習の取組が本格的に開始される予定である。 <p>取組内容② 基礎体力の向上につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童アンケートの結果、全学年で「運動が楽しい」という項目に対する最も肯定的な回答は66.5%となった。肯定的な意見を含めると89.5%となる。目標を達成できるよう様々な種目・運動を紹介できる場を作り、体育学習に取り入れることで児童の運動に対する意識が向上していくように働きかける。 ・ 学級のボールの新調など運動用具の入れ替えを少しずつ行っている。来年度に向けて、古いものや壊れているものは処分、新調し、引き続き児童が楽しく運動ができるよう環境を整備していく。

次年度への改善点（案）	
（最終評価で記入）	
「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〈学びを支える教育環境の充実〉」	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル教科書、ワークシートの作成・提出、調べ学習など児童が学習端末を使用しやすい環境を整備する。 ○ 各教科の学習を通して情報活用能力、情報モラル等の育成を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業の50%以上にする。[学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議の精選と時間短縮、ペーパーレス化の追求 ○ 勤務時間のフレキシブル化を図る <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（時間外勤務が1か月で45時間以内、年間で360時間超えない）を満たす教職員の割合を77%以上にする 	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>読書力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書時間を確保し、読書習慣を身につけさせる。 ○ 読書への興味を高める環境整備を行う。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外にふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除く）」に対して「全くしない」と回答する児童の割合を25%以下にする。（昨年度28.1%） 	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析	
<p>取組内容①ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率よくデジタル教科書を活用し授業を行っている。低学年では、スカイメニューの発表ノートで自分の考えを共有したり、オンラインコグトレで認知機能を高める学習に取り組んだりしている。高学年では、Teamsの活用で連絡帳の配信を行っていたり、navimaのAIデジタルドリルで自分の進度にあった学びを実現していたり、話し合いツールで自分の考えを友だちに共有したりして協同的な学びに活かしている。月間達成率は31.6%で、年度当初から向上しているためこのまま継続していく。 	

取組内容②働き方改革

- ・ 教職員の時間外勤務について、当初目標の77%を上回って、9月末時点で88%に達している。年間を通して達成できるように引き続き時間外勤務の削減に努めていく。
- ・ Teams 掲示板、SKIP 掲示板の活用により会議回数、時間の削減に努めている。職員会議は、資料を事前に掲示して目を通してもらうことで時間の削減に努め、児童共通理解も含めて1時間程度で終わっているため、継続して取り組んでいく。

取組内容③読書力の向上

- ・ 達成状況は経年調査が未実施のためわからないが、児童アンケートで「本を読むのはすき」の項目で「そうでない」と答えた児童の平均は7.7パーセントだった。
- ・ 読書週間の時には、図書委員が作った絵本や本の帯を掲示して、児童が図書室に来る機会を増やし、本に親しむ機会を作った。また、読書手帳を活用し、読書習慣が身につくようにした。
- ・ 今後の予定として、各学年にブックカートを置く準備を進めている。

次年度への改善点

(最終評価で記入)